

## 自然災害に強い『みち』

大自然の力は想像を絶するものがあります。『みち』を守る人たちは、そんな自然災害に備えていろいろな工夫をしています。北国は雪が多いので、そのためにも工夫が必要です。

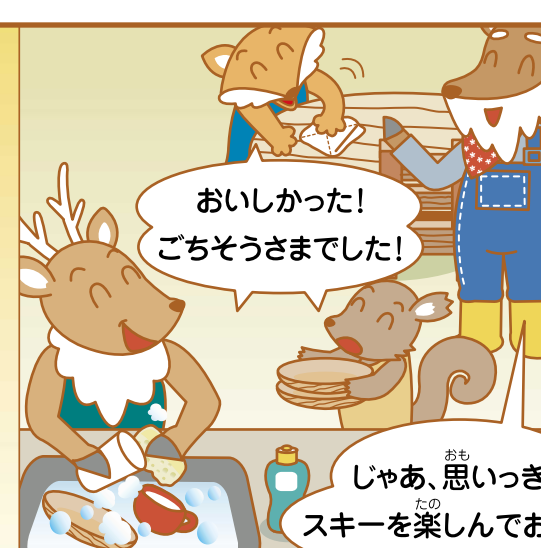
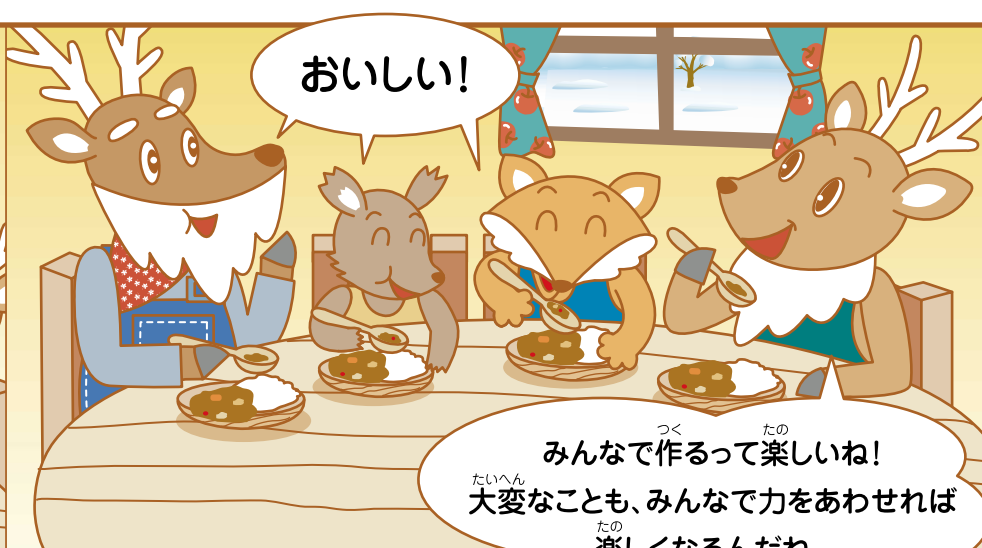
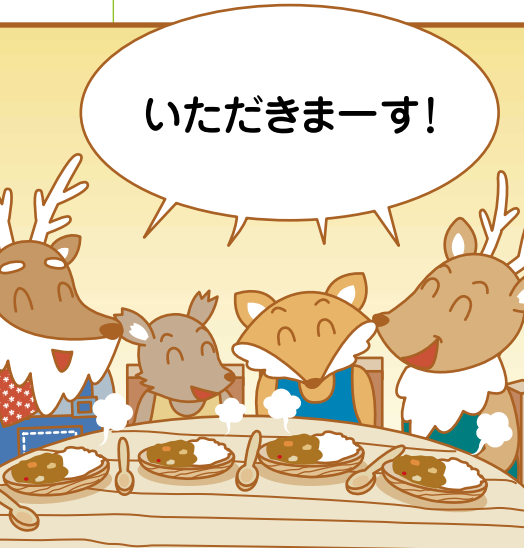


## 覆道

道路に屋根をつける覆道の上には、土砂や砂をひいてクッションの役割をさせることがあります。また、法枠工法はコンクリート製または鋼製の枠で斜面が崩れるのを防ぎます。

## 防雪林

北国の広い土地では、吹雪になると視界が悪くなり、事故がふえます。計画的に木を植えて、防雪林を造れば、吹雪や風を防ぐことができます。



## 維持作業の実施

維持作業を行うには、交通の流れを把握し、作業箇所の延長、幅、作業時間帯を検討し、交通対策について最良の方法を決める必要があります。作業は、供用中の道路で行うので作業員の安全について十分留意する必要があります。



側溝清掃車

## 一般的留意

- 交通量  
交通量の少ない時間帯を設定
- 工法および使用機種  
騒音、振動の少ない工法、機種配慮
- 迂回路および交通規制  
交通規制については警察署と十分に打合せ、迂回を円滑に行うため、必要に応じ事前に(財)日本道路交通情報センターに連絡するとともに看板、チラシ等により道路利用者と沿道住民に対し十分PR

## 作業時間帯の留意事項

- 路面の維持応急修理の施工は片側車線または車線の一部を作業帯に使用するので、交通量の多い時間帯は避ける。緊急を要する場合には、多少車線を侵してもすみやかに応急修理を行う

- 路面清掃、側溝清掃  
交通量の多い道路を除いて昼間作業が可能
- 除草、路肩整正  
清掃作業と同様
- 区画線等の設置  
車道上の工事であるが、短時間に移動できるので一般には昼間作業が可能
- 打換え、オーバーレイ  
片側車道での対面交通または交互交通あるいは迂回路を設置して片側一方通行とする
- 橋梁、構造物  
舗装打換えと同様に交通障害を与えることが多い。この種の工事は、通行止めを伴う昼夜工事となる場合が多い。迂回路の選定は慎重に
- 標識  
作業現場には標識令で定められた標識「道路工事中」「指定方向外進行禁止」「通行止め」「徐行」「まわり道」等を設置する

## 巡回(パトロール)

巡回は道路の現状と機能維持の予測および作業計画の情報源である。

- 道路の異常、破損等を発見、道路の保全
- 交通の障害物および障害発生の危険を発見
- 道路の交通状況を把握
- 占用工事、請願工事等の実施状況を把握
- 不法使用、不法占用の指導、取締
- 緊急を要する異常を発見した場合に、応急措置を実施

## 巡回の種類

巡回の種類および名称は統一されていないが、通常巡回、夜間巡回、定期巡回および異常時巡回の4種類に分け、積雪寒冷地域では雪氷巡回を実施している。

- 通常巡回  
平常時における巡回でパトロール車から視認できる範囲の道路の状況、交通の状況等を把握。

## 夜間巡回

夜間における交通の安全を確保するために実施する巡回で、原則としてパトロール車から視認できる範囲の道路照明、標識等の視認性。

- 定期巡回  
道路構造の保全を図るために実施。
- 異常時巡回  
台風、集中豪雨、豪雪時または地震その他道路交通に支障を与えるおそれのある状況が発生した時に実施。危険が予測される箇所の点検および災害の実態等の把握。必要な情報連絡を行うことにより、適切な防災対策または災害復旧に資するために実施。
- 雪氷巡回  
冬期において降雪状況および路面凍結の状況を把握。除雪の開始時期、除雪工法の判断および凍結防止剤の散布等を適切に実施するために行う。

## 災害時の対策

道路管理者は異常気象時等において交通の危険を防止するため、あらかじめ組織、体制を整えています。災害時の道路管理者の主な業務は次のとおりです。

- 気象状況、交通状況の情報収集
- 道路、交通情報の整理および提供
- 職員招集
- 資材の手配
- 交通処理対策および災害復旧対策の立案および実施

道路管理者は、安全な道路交通を確保するために通行規制を行います。道路法第46条第1項により、道路の通行を禁止または制限します。

- 通行規制区間における事前通行規制  
一定の基準値に達した場合
- その他の通行規制  
危険が予想される場合